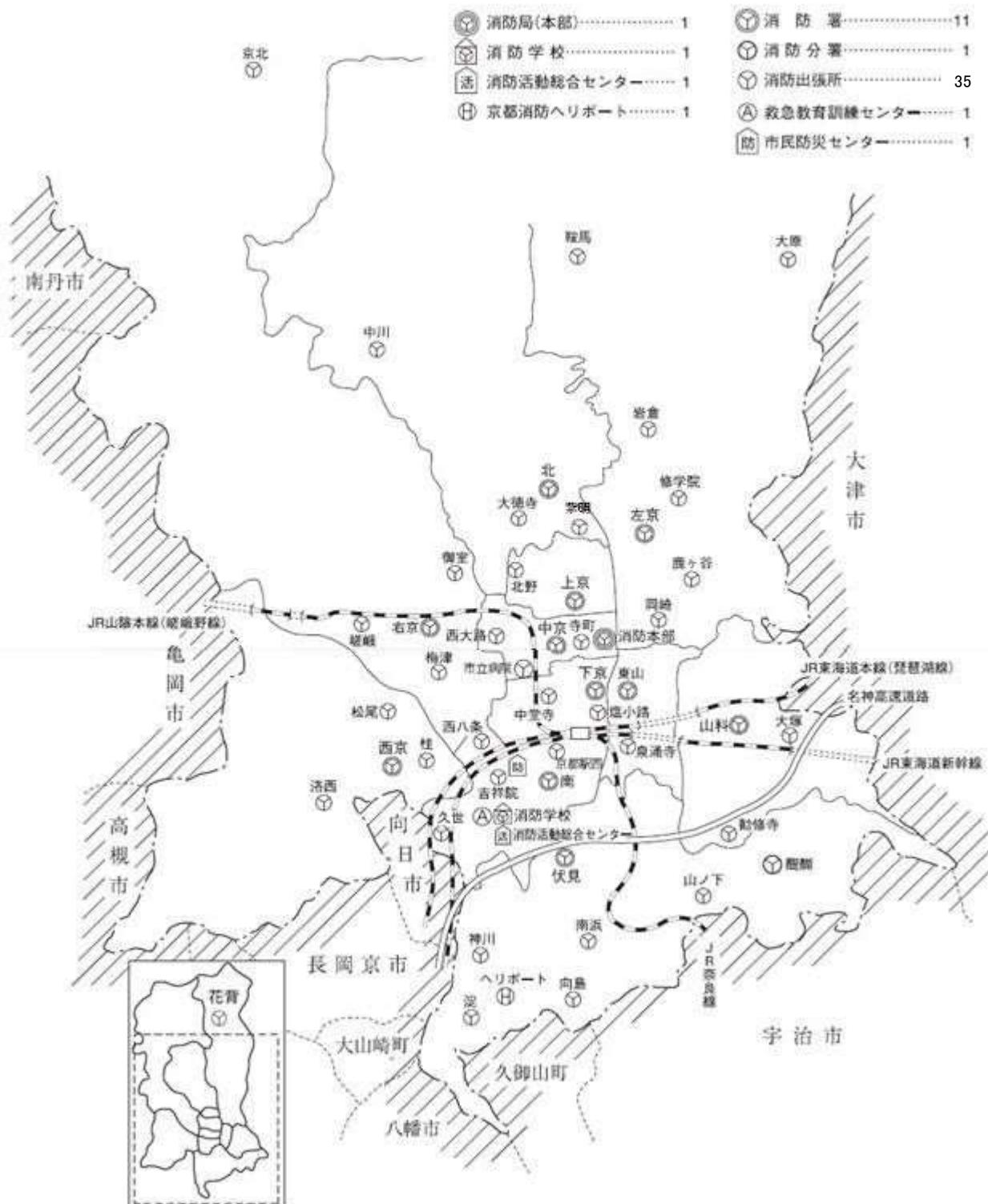


消防署所の配置

消防機関の配置図（平成30年4月1日現在）



消防署所の所在地

名称	所在地	電話番号
消防局（本部）	〒604-0931 中京区押小路通河原町西入榎木町 450-2	075-231-5311 代
消防学校	〒601-8166 南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内 21-3	075-682-0119
消防活動総合センター（管理棟）	〒601-8166 南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内 94-4	075-671-2119
京都消防ヘリポート	〒612-8244 伏見区横大路千両松町	075-621-1834
京北消防ヘリポート	〒601-0252 右京区京北五本松町西山	
市民防災センター	〒601-8445 南区西九条菅田町 7	075-662-1849
北消防署	〒603-8425 北区紫竹下緑町 87	075-491-4148 代
大徳寺消防出張所	〒603-8231 北区紫野大徳寺町 88	075-491-8748
紫明消防出張所	〒603-8149 北区小山南上総町 1-1	075-432-0119
中川消防出張所	〒601-0122 北区中川北山町 48-2	075-406-2311
上京消防署	〒602-8031 上京区釜座通下立売下る東裏辻町 398	075-431-1371 代
北野消防出張所	〒602-8384 上京区今小路通御前西入紙屋川町 870	075-465-0119
左京消防署	〒606-8211 左京区田中西大久保町 36	075-723-0119 代
岡崎消防出張所	〒606-8344 左京区岡崎円勝寺町 23-1	075-771-3195
鹿ヶ谷消防出張所	〒606-8447 左京区鹿ヶ谷上宮ノ前町 37	075-771-0105
岩倉消防出張所	〒606-0015 左京区岩倉幡枝町 1204	075-701-3000
修学院消防出張所	〒606-8081 左京区修学院大林町 13-8	075-781-0119
大原消防出張所	〒601-1244 左京区大原上野町 564-3	075-744-2249
鞍馬消防出張所	〒601-1112 左京区鞍馬貴船町 5-2	075-741-2990
花背消防出張所	〒601-1103 左京区花脊八樹町 1-1	075-746-0062
中京消防署	〒604-8265 中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町 521	075-841-6333 代
寺町消防出張所	〒604-0931 中京区押小路通寺町東入榎木町 101	075-222-1546
京都市立病院消防出張所	〒604-8845 中京区壬生東高田町 1-2	075-311-0119
西大路消防出張所	〒604-8437 中京区西ノ京東中合町 45	075-841-0243
東山消防署	〒605-0862 東山区清水五丁目 130-8	075-541-0191 代
泉涌寺消防出張所	〒605-0974 東山区泉涌寺五葉ノ辻町 13-2	075-561-1330
山科消防署	〒607-8341 山科区西野今屋敷町 2-10	075-592-9755 代
勧修寺消防出張所	〒607-8226 山科区勧修寺仁王堂町 27-6	075-573-0119
大塚消防出張所	〒607-8134 山科区大塚北溝町 23-1	075-595-0240
下京消防署	〒600-8191 下京区五条通高倉西入堺町 27	075-361-4411 代
塩小路消防出張所	〒600-8207 下京区上之町 13	075-351-1045
中堂寺消防出張所	〒600-8812 下京区中堂寺北町 71	075-802-6529
南消防署	〒601-8445 南区西九条菅田町 4-1	075-681-0711 代
京都駅西消防出張所	〒601-8405 南区西九条戒光寺町 2	075-691-0327
吉祥院消防出張所	〒601-8327 南区吉祥院御池町 6	075-691-5220
西八条消防出張所	〒601-8302 南区吉祥院西ノ庄淵ノ西町 42	075-313-0402
久世消防出張所	〒601-8213 南区久世中久世町二丁目 129-2	075-932-1873
右京消防署	〒616-8162 右京区太秦蜂岡町 36	075-871-0119 代
嵯峨消防出張所	〒616-8366 右京区嵯峨天龍寺今堀町 1	075-861-0722
梅津消防出張所	〒615-0906 右京区梅津高畠町 46	075-861-0900
御室消防出張所	〒616-8092 右京区御室大内 35	075-462-3131
京北消防出張所	〒601-0533 右京区京北下中町勝山田 8	075-854-0119
西京消防署	〒615-8186 西京区桺原町 19	075-392-6071 代
桂消防出張所	〒615-8026 西京区桂市ノ前町 12	075-381-2370
松尾消防出張所	〒615-8281 西京区松尾木ノ曾町 59-6	075-391-3584
洛西消防出張所	〒610-1142 西京区大枝東新林町二丁目 4	075-332-0683
伏見消防署	〒612-8422 伏見区竹田七瀬川町 9-1	075-641-5355 代
醍醐消防分署	〒601-1366 伏見区醍醐大構町 28	075-571-0474
南浜消防出張所	〒612-8045 伏見区南浜町 273-2	075-611-2165
淀消防出張所	〒613-0904 伏見区淀池上町 197	075-631-2434
山ノ下消防出張所	〒612-8002 伏見区桃山町山ノ下 44-5	075-601-8999
神川消防出張所	〒612-8495 伏見区久我森の宮町 14-27	075-922-7777
向島消防出張所	〒612-8136 伏見区向島四ツ谷池 7-10	075-622-3754

消防職員・消防団員の現況

消防職員の現況 (平成30年4月1日現在)

職員数 1,632名 (初任教育生38名及び再任用職員137名除く。)

消防団の現況 (平成30年4月1日現在)

定員 4,970名
現在員 4,430名 (うち女性団員462名, 学生団員160名)

■ 行政区別の状況

団名	分団数	団員数
北	21	422
上京	18	305
左京	29	693
中京	25	424
東山	12	195
山科	15	255
下京	25	351
南	14	284
右京	26	639
西京	17	336
伏見	22	526
計	224	4,430

消防署の組織改正

組織改正の概要

平成30年4月から、あらゆる行政課題に対し、迅速かつ柔軟に対応するため、これまでの3課（総務課・予防課・警防課）体制から、管理部門（総務課）と業務部門（消防課）の2課体制に再編し、業務における連携の円滑化を図りました。また、2課のトップを副署長とし、署長のマネジメントの下、消防行政を取り巻く情勢変化や、多様なニーズに的確に対応します。

■ 消防署の管理体制強化

各消防署に副署長（総務担当）及び副署長（予防・警防担当）を置き、2名体制としました。

副署長（総務担当）にあっては「総務課長」の、副署長（予防・警防担当）にあっては「消防課長」の事務取扱とし、各課の組織及び事務に係る権限を集約することで、業務の効率化、迅速化を図ります。

■ 管理部門（総務課）

これまでの庶務係長と企画広報係長を統合し、「企画管理係長」とするとともに、消防団の充実強化・入団促進と地域防災力の更なる向上のため、消防団、ジュニア消防団事業を担当する「消防団係長」を新たに設置しました。

■ 業務部門（消防課）

● 消防業務の一体的な推進体制

急増する民泊等の宿泊施設、高圧ガス規制の知事から市長への権限移譲、新潟県糸魚川市大火を踏まえた小規模飲食店への指導など、増大する事業所防火のニーズに対応するため、交替制勤務者の査察員を増員するなど、予防行政の根幹である査察の安定的かつ計画的な実施体制を構築しました。

● 市民指導業務の集約化

新たに創設した「住宅防火推進チーム」等による地域と連携した住宅防火や、地域及び事業所と連携した応急手当の普及啓発をより効果的に推進するため、市民指導業務を担当する「市民指導係長」を消防課に設置しました。

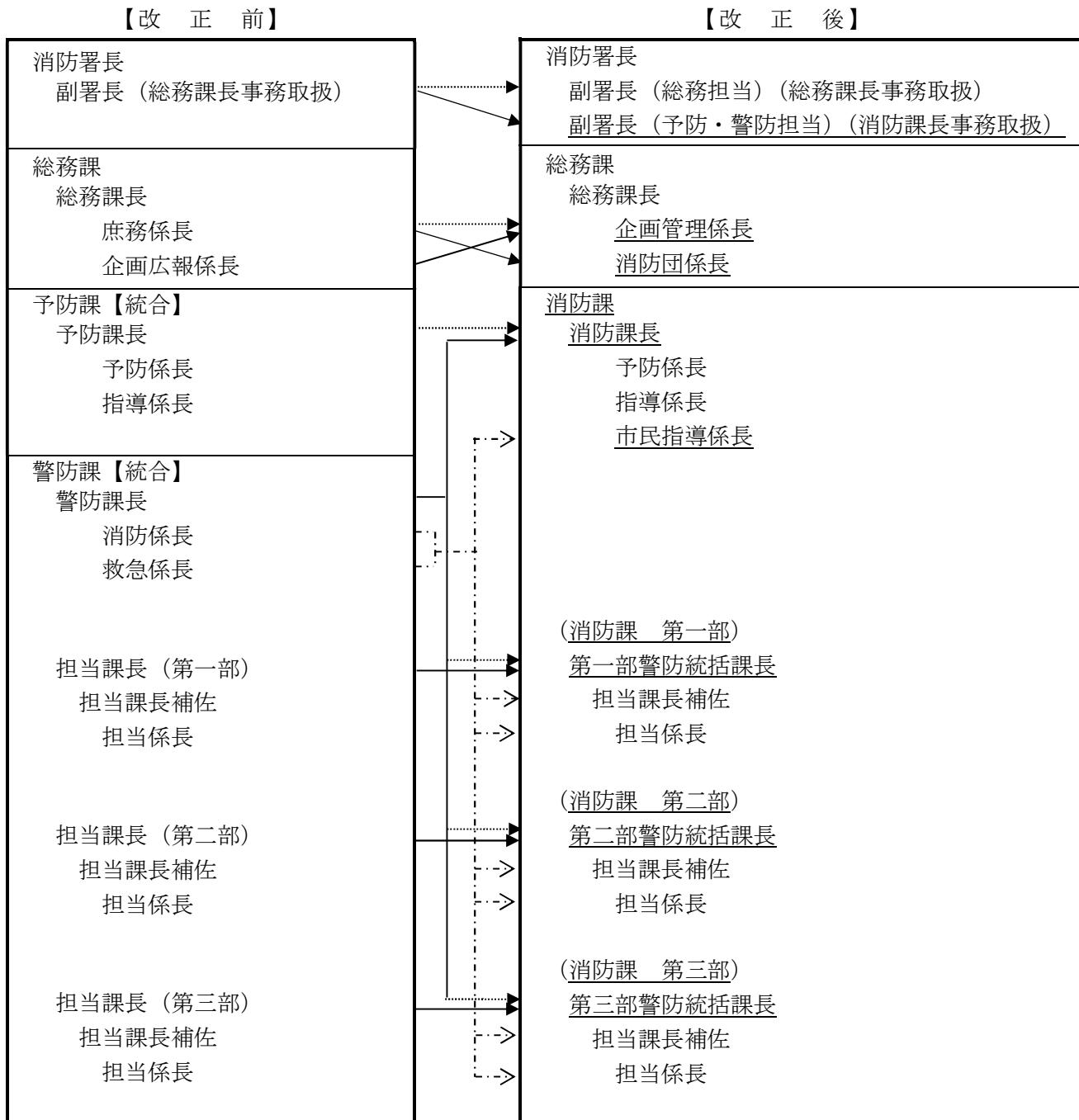
● 警防組織の強化

警防課が所管していた業務の大半を、第一部、第二部及び第三部へ移管しました。また、当該部の長を「警防統括課長」とし、災害対応をはじめとする警防業務に係る意思決定の迅速化を図ります。

● 救急業務体制の強化

救急活動及びその事後検証等の救急業務管理を警防統括課長に集約し、PA連携をはじめ、災害対応と救急活動の更なる充実を図ります。

■ 消防署の組織改正新旧対照表

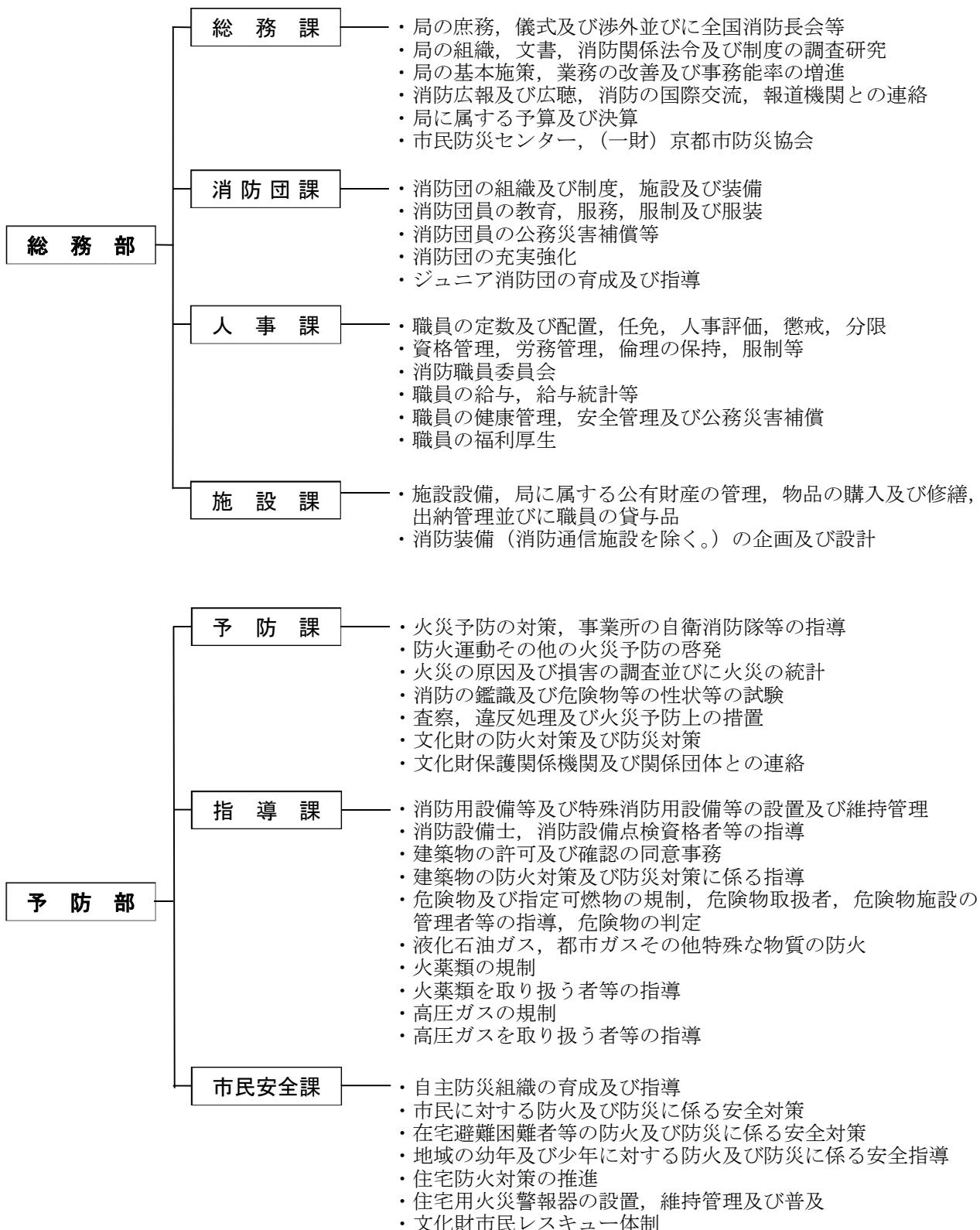


矢印はいずれも職務の統合や担当の変更、下線部は新設した役職及び名称を示す。

消防局の組織と事務分掌

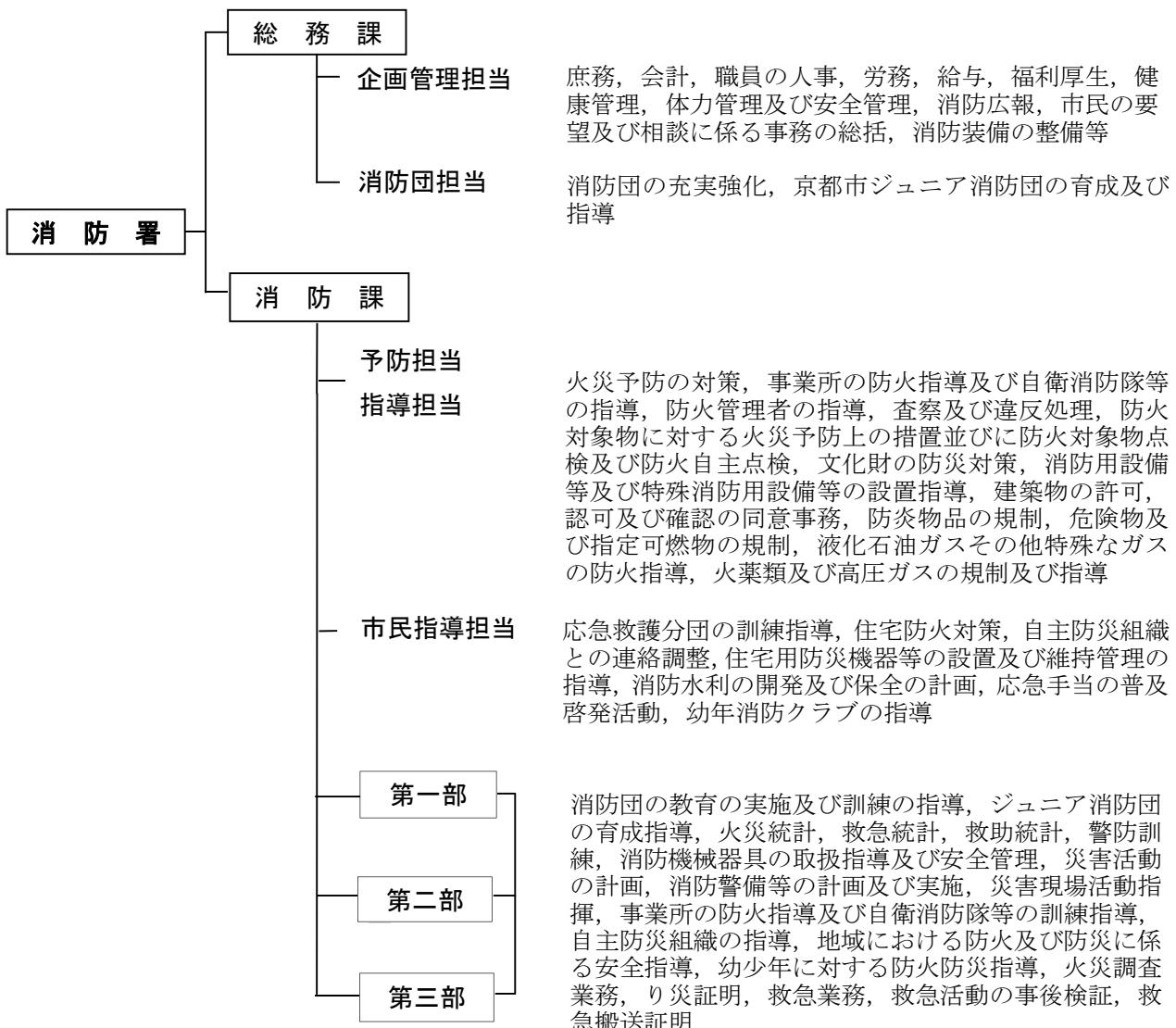
組織と事務分掌

■ 消防局（本部）3部、1校、14課

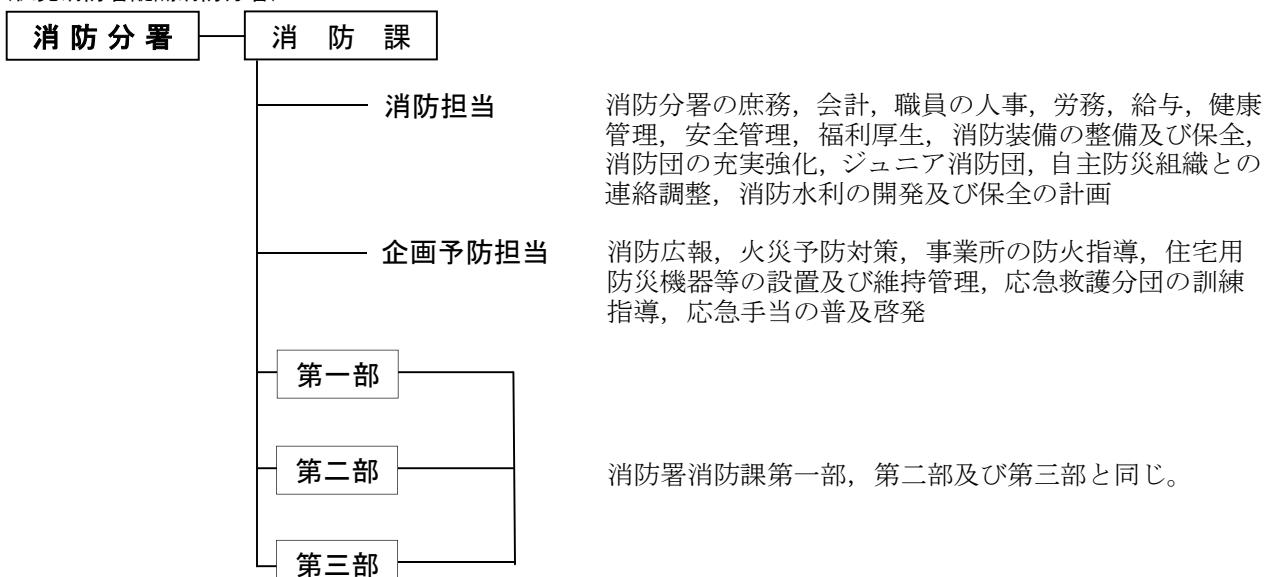




消防署 (11署・1分署)



(伏見消防署醍醐消防分署)



消防予算の現況

予算の概要

平成30年度の消防局の当初予算は、「はばたけ未来へ！京プラン」重点戦略の、安心・安全と生きがいを実感できる「いのちとくらしを守る戦略」を着実に推進するため、市民や観光客を守る消防救急体制の強化並びに消防団及び自主防災組織をはじめとした地域防災力の更なる向上について、重点的に予算を計上している。

消防体制については、北消防署及び勧修寺消防出張所の移転整備、南部方面統括指揮隊（仮称）の創設、消防用ドローンの導入により、火災や自然災害などあらゆる災害への消防体制の強化とともに、今後も増加が予測される救急需要に対応するため、医療関係者などで構成する救急要請に関する検討会を設ける。また、火災予防対策として、消防検査済表示制度の創設による民泊等宿泊施設の火災予防対策の推進、住宅用火災警報器の交換・設置促進など、地域・事業所と一体となって出火・焼死者防止対策などに取り組む。

消防団体制では、学生をはじめとする若年層の入団促進や女性消防団員の活動支援等、地域防災力の中核を担う消防団の更なる充実強化を図る。

自主防災組織については、各自主防災会において策定された防災行動マニュアルを、我が家の防災行動シール等の配布、火災や土砂災害などを想定した訓練を通じて周知徹底し、地域の災害対応力の向上を図る。また、将来の地域防災活動の担い手作りを推進するため、京都市ジュニア消防団の創設や年代に応じた防災指導カリキュラムに基づき、幼少年の防災教育の充実に取り組む。

予算の規模

平成30年度当初の消防局予算は、総額221億7百万円を計上し、前年度の当初予算と比較すると、6億2千万円の増（+2.9%）となっている。

主な予算額の増減理由としては、投資的経費が、消防活動拠点施設の整備などにより増加したほか、退職者数の増加等による給与費の増加が挙げられる。

（平成30年4月1日）

区分	30年度 当初予算額	前年度 当初予算額	対前年度比較	
			増減額	増減率
市一般会計総額（A）	千円 784,466,000	千円 766,850,000	千円 17,616,000	% 2.3
消防局予算（B）	22,107,000	21,487,000	620,000	2.9
一般会計と消防局予算の割合 (B)／(A)	2.8%	2.8%	—	—

消防局歳出予算費目内訳

（平成30年4月1日）

款	項	目	30年度 当初予算額	前年度 当初予算額	対前年度比較	
					増減額	増減率
消防費	消防総務費	消防総務費	千円 17,779,000	千円 17,707,000	千円 72,000	% 0.4
		常備消防費	1,765,413	1,697,336	68,077	4.0
		消防団費	708,000	681,000	27,000	4.0
		水道事業特別会計繰出金	186,587	165,664	20,923	12.6
	消防施設整備費	消防施設整備費	1,668,000	1,236,000	432,000	35.0
合計			22,107,000	21,487,000	620,000	2.9

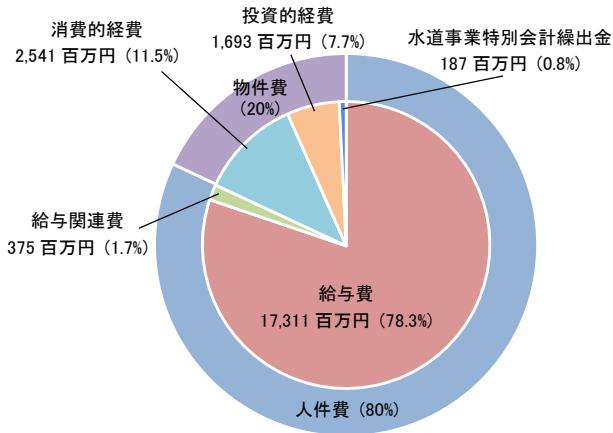
消防局歳出予算性質別内訳

■ 人 件 費 (80.0%)

給 与 費 17,311 百万円
給与関連費 375 百万円

■ 物 件 費 (20.0%)

消費的経費 2,541 百万円
投資的経費 1,693 百万円
水道事業特別会計繰出金 187 百万円



消防局当初予算の推移

年度	当初予算額	特 定 財 源			般財源	地方交付税(消防費)	
		国庫支出手	市債	その他		基準財政需要額	単位費用
27	22,709,000	千円 28,700	千円 1,716,000	千円 290,300	千円 20,674,000	千円 17,455,878	円 1,300
28	22,152,000	28,700	1,151,000	322,300	20,650,000	17,362,473	1,300
29	21,487,000	73,100	1,191,000	294,900	19,938,000	17,186,329	1,300

主な事務事業

事務事業名	概要	当初予算額
消防活動拠点施設の整備	◆消防活動拠点施設の整備 ・北消防署移転整備 ・勧修寺消防出張所移転整備	千円 347,000
消防水利整備	◆消防水利整備 ・耐震型防火水槽 100m ³ 1基	25,000
消防自動車整備	監察指導車、ポンプ車、小型水槽車、化学車、特殊災害対策車、救急車	389,000
南部方面統括指揮隊(仮称)の創設	市域の南部方面を統括する本部指揮隊として、南部方面統括指揮隊(仮称)を創設することにより、大規模・特殊災害等への指揮機能の向上を図る。	15,000
消防用ドローンの導入	消防用のドローンを導入し、更なる消防力の向上を図る。	9,000
救急高度化事業	◆救急教育訓練センターにおける救急救命士の養成 ◆メディカルコントロール体制の充実	101,000
応急手当の普及啓発	◆応急手当の普及啓発	5,000
予防対策	◆民泊等に対する火災予防対策の推進 ◆住宅用火災警報器交換・設置促進の充実	58,000
消防団体制の充実	◆京都市ジュニア消防団の創設 ◆消防団充実強化実行チームの活動支援 ◆消防団施設補助	27,000
自主防災組織の災害対応力の充実	◆自主防災組織の災害対応力の充実 ・年代に応じた防災指導カリキュラムによる、幼少年期からの防災教育の充実 など	19,000

消防車両等の配置状況

(平成 30 年 4 月 1 日)

救急隊の配置状況

(平成30年4月1日)

署・出張所		救急隊名
北消防署	本署	北救急隊
上京消防署	本署 北野消防出張所	上京救急隊 北野救急隊
左京消防署	本署 岡崎消防出張所 岩倉消防出張所 大原消防出張所	左京救急隊 岡崎救急隊 岩倉救急隊 大原救急隊
中京消防署	本署 寺町消防出張所 京都市立病院消防出張所	中京救急隊 寺町救急隊 壬生救急隊
東山消防署	本署	東山救急隊
山科消防署	本署 勧修寺消防出張所 大塚消防出張所	山科救急隊 勧修寺救急隊 大塚救急隊
下京消防署	本署 塩小路消防出張所	下京救急隊 塩小路救急隊
南消防署	本署 京都駅西消防出張所 西八条消防出張所	南救急隊 京都駅西救急隊 西八条救急隊
右京消防署	本署 嵯峨消防出張所 梅津消防出張所 京北消防出張所	右京救急隊 嵯峨救急隊 梅津救急隊 京北救急隊
西京消防署	本署 洛西消防出張所	西京救急隊 洛西救急隊
伏見消防署	本署 南浜消防出張所 淀消防出張所 神川消防出張所 向島消防出張所 醍醐消防分署	伏見救急隊 南浜救急隊 淀救急隊 神川救急隊 向島救急隊 醍醐救急隊